

2008年度

科目名 生活科教育法	対象学科・学年 教育教科2回生	担当者 丹羽 孝昭
授業テーマ 自立への基礎を養う生活科学習のあり方を求めて		
授業の概要と目標 生活科誕生の背景や教育的意義をとらえ、小学校低学年における生活科の特色を把握する。その上に立つて、今回の改訂の趣旨をふまえ、生活科の目標、内容、学習指導の方法などの理解を図り授業づくりに役立てる。		
評価方法 期末テスト（70点）、レポート、出席状況、受講態度等（30点）により多面的、総合的に評価する。		
テキスト 小学校学習指導要領解説 生活編	著者 文部省	出版社 日本文教出版社
参考書 新小学校教育課程講座（生活）	著者 嶋野道弘	出版社 ぎょうせい
授業スケジュール・内容 1. 小学校低学年における生活科のもつ教育的意義 (1) 生活科誕生の背景、生活科の特質 (2) 今回の改訂の内容と趣旨 2. 生活科の目標 教科目標・学年目標の構成と趣旨 3. 生活科の内容 内容構成の視点と8項目の内容の趣旨 4. 生活科の指導計画の作成 (1) 地域素材の研究 生活科マップ・生活科暦の作成と活用 (2) 児童の実態の把握 児童のもつ興味・関心、体験や技能の度合、友人関係など (3) 指導体制の工夫 多様な活動を生む指導体制 (4) 作成上の配慮事項 5. 生活科の学習指導 (1) 多様な活動や体験を引き出す工夫をする (2) 知的な気付きを大切にする (3) 教師の役割を自覚する (4) 学習指導案の作成と学習指導の実際 「季節の変化と生活」に関する指導 「身近な自然やものを利用した遊び」に関する指導 「自分の成長」に関する指導 6. 生活科における評価 (1) 評価の特質 (2) 評価の観点と評価方法		